

まちの話 だい



7月11日 | 温もりあるベンチの寄贈

地域おこし協力隊の村松元巳むらまつ はるみさんが、川根小学校に川根産の木材を利用して手作りしたベンチを2台寄贈しました。

児童たちは、木ならではの香りや質感を楽しみながら座り、新しいベンチのプレゼントを喜びました。川根地域で林業に携わる村松さんは「島田市は、木の保有量が多い地域です。子どもたちには、木材に親しみを持ってもらいたい」と語りました。

7月21日 | 地域で学びの手伝い

島田工業高等学校の生徒が、島田第五小学校で小学生の学習支援ボランティアを行いました。

ボランティアには2日間で、合計134人の高校生が参加。各教室4～5人ずつのグループに分かれ、プリントの添削や困っている児童の補助などを行いました。学習支援を受けた子どもたちは、いつもとは違う教室の雰囲気の中でも、積極的に手を挙げて質問をしていました。



トピックス

東京駅で「島田の緑茶縁日」開催



7月8日から14日まで、JR東京駅構内のグランスタ「スクエアゼロ」において、市単独でアンテナショップを開催しました。「地球上でもっとも緑茶を愛する街、島田」を首都圏でPRするため、7種の緑茶・ソフトクリーム・かき氷、島田の逸品などを販売。また「島田の緑茶観光」や大井川流域の見どころなど、市の魅力を発信しました。期間中は多くの人々が訪れ、来場者からは「本場のお茶はおいしい。美しい茶畑の風景やアクティビティを楽しみに、島田市へ行ってみたい」などの声が聞かれました。